



木曽川下流自然観察会

<http://owari.eco.coocan.jp/kisogawa.html>

日時 2019年9月8日(日) 9:30~12:00(晴)

参加者 一般:4名(うち子ども0名)、

指導員:5名

テーマ 「秋の花を楽しもう」

台風15号が東寄りのコースをとったおかげで、天気に恵まれました。テーマは秋の花ですが、川原の植物が見たいと初めて参加された人の要望に応じて、まず川原に下りました。カワラマツバの花は終わっていましたが、カワラサイコの黄色の花が見られました。カワラヨモギはまだ蕾の状態でした。葉を見てもヨモギとは似ていませんが、蕾のつき方を見ると同じ仲間だと実感できます。

この日一番の収穫は、大野極楽寺公園北の堤防法面でカワラケツメイを見つけたことです。ここは外来のヒサウチノウなどが繁っていた場所なので、外来のアレチケツメイかと思いましたが、葉柄にある蜜腺の形状から在来のカワラケツメイと分かりました。

138タワーパークにはアレチケツメイが生えているので、後で見に行き蜜腺の形状を比べてみました。それにしても、昨年までなかったものがどうしてここに出現したかは謎です。

大野極楽寺公園ではノアズキの花も咲いていました。黄色の花をよく見ると、形が歪んでいるのが分かります。

さらに進むと、秋に目立つヒガンバナの花が咲いていました。ここでは毎年他所より早く開花しています。

138タワーパークではフジカンソウが咲いていました。昨年は株数が少なく、絶滅するのではないかと心配しましたが、今年は増えていました。故・大竹先生が、ここには公園を整備する前からあったと言っておられたそうです。

さて、今回花とは別にメーリングリストで話題になっていたミンミンゼミの声が聞かれるか注意して回りました。遠くで2回鳴き声が聞かれました。10時頃の最初に鳴き声には2名、12時頃の2回目の鳴き声には3名が気付きました。近くで鳴いてくれないとなかなか気づかないものなのですね。(齋竹)



(フジカンソウの花を観察中)

<その他観察できたもの>

花: キクイモ、ブタクサ、オオブタクサ、ヒメムカシヨモギ、オオフタバムグラ、メリケンムグラ、メドハギ、クズ、ヤハズソウ、ツルマメ、アレチヌスビトハギ、ヌスビトハギ、ガガイモ、メマツヨイグサ、オッタチカタバミ、ツリガネニンジン、ミソハギ、ミズヒキ、ツユクサ、ヤブミョウガ、キツネノマゴ、アレチハナガサ、ヒメクマツツラ、センニンソウ、ヘクソカズラ、マメアサガオ、ヤブラン、オミナエシ、 鳥: アオサギ、キジバト、ヒヨドリ、シジュウカラ、メジロ、カワラヒワ、スズメ、ムクドリ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、 昆虫: ナミアゲハ、キアゲハ、キタキチョウ、ヤマトシジミ、ヒメウラナミジャノメ、ヒメジャノメ、ツマグロヒョウモン、ハグロトンボ、ウスバキトンボ、ミヤマカネ、シオカラトンボ、オオシオカラトンボ、オニヤンマ、ギンヤンマ、アブラゼミ(声)、ツクツクボウシ(声)、クルマバッタモドキ、ショウリョウバッタ、エンマコオロギ(声)、ハラオカメコオロギ(声)、ミツカドコオロギ(声)、カネタタキ(声)、アオマツムシ(声)、ヨコツナサシガメ、その他: ニホンカナヘビ



カワラケツメイ
(どうしてここに出現?)



カワラケツメイ
アレチケツメイ
蜜腺の形状の比較
(アレチはキノコ状に突出)



歪んだ形のノアズキの花



ヒガンバナ
(ここは毎年早い開花)